

2023 年度

学校自己評価報告書

2024 年 3 月



学校法人八文字学園
専門学校 水戸自動車大学校

◆ 2023 年度 学校自己評価について

学校法人八文字学園 専門学校 水戸自動車大学校は、二級自動車整備士資格取得を目的とし「国土交通大臣指定の自動車整備士一種養成施設」として、平成 11 年に開校しました。

以来、専門的な技術を必要とする車体整備学科・高度な自動車整備技術を修得する一級自動車整備学科の新設と最先端の教育設備を基に実務教育を実施し、専門的かつ実践的な人材を輩出して参りました。

その間、自動車業界においては、ハイブリッド車や電気自動車などの普及が著しく、社会的・経済的にも各自動車メーカーが鎬を削り、人々の生活に大きな影響を与えてきました。

本校におきましても、この社会の変化にいち早く対応し、高度な専門的知識と技術力を持った学生の育成に力を注いでおります。

今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教員水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

1. 対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 実施方法

(1) 自己点検評価委員会による合議制の評価

実行委員会を設置し、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。

学校長をトップとして学校自己評価委員(教職員)により、その規定によって方針を定め、評価を行っております。

(2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」

(3) 評価期限：年一回年度末

(4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページでの公開

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 評価項目に対する評価

評価は 4～1 の点数で記載します。

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

◇基準1 教育理念・目的

総合評価 3.07 (2022年度 3.14)

水戸自動車大学校は、テクニックを身に付け、人間性を伸ばし、未来を創造する整備士の育成を目指しております。

生活に欠かせない自動車は日々進化を続けています。5年後、10年後の車社会を支え、変化にいち早く対応し、高度な専門的知識と技術力を持った学生の育成を目的として、常に最先端の自動車整備技術を修得する気概にあふれた人材、社会人として必要な人間性のある人材育成に取り組んでおります。

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.11
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	3.44
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.78
エ	学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.00
オ	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ・常に業界の動向を見据え、求められる人材像を検討し、学科やカリキュラム編成などの見直しを行い、教育内容の改善・改良をしていくためにも、我々教員が企業へ出向き、現場の声を直接聞く機会を増やしていく必要がある。
- ・教育理念や育成人材像はパンフレットやホームページで周知している。保護者会・三者面談等を開催するなど、保護者に理解していただけるよう努めている。

◇基準2 学校運営

総合評価 2.99 (2022年度 2.93)

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.89
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.89
ウ	運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.89
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	3.00
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.00
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.78
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.33
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.11

(2) 現状および問題点と改善策

- ・全体計画・単年度重点計画を定め、教育理念に基づいた学校運営のための各種諸規定を整備しているが、毎年見直しを行い、社会情勢の変化に対応したものとしていかなければならない。
- ・人事・給与に関する制度は整備されており、時代に合わせた見直しを適宜検討している。教員の高齢化が進む一方、若手の育成が進んでいない。活力ある若い人材の採用が必要である。
- ・現在、グループウェア「GRIDY」を導入し、学園内での情報共有を活性化しコミュニケーションを強化している。また、緊急時に早急な対応ができるよう、教職員及び学生への専用メール（さくら連絡網）が構築されている。

◇基準3 教育活動 **総合評価 2.96 (2022年度 3.16)**

(1) 評価

	評価項目	自己評価
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.11
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.11
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.22
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.89
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.11
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.11
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.00
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.44
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.22
コ	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.33
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.22
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.78
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか	2.44
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.44

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教育理念及び各学科の教育目標に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されている。
- ・全学科において、企業連携実習として実践的な能力を修得する機会を設けており、さらに充実した企業連携教育を目指していく。
- ・教員の研修については、必要に応じて実施しなければならないが、まだ十分とは言えない。外部での研修においては、必要性を考慮した上で参加しているが、予算面や日常の授業及び人手

不足による業務の多忙により参加ができないケースもあり、全教員偏りなく研修を受けられるよう、業務改善により積極的、計画的に研修に参加できる体制を整える必要がある。

- ・昨今の自動車業界における人材不足の影響により、教員採用への応募数は十分ではなく、各科目の教育を担当する専任教員数の確保も喫緊の課題である。

◇基準4 学修成果 総合評価 2.98 (2022年度 3.08)

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	就職率の向上が図られているか	3.33
イ	資格取得率の向上が図られているか	3.22
ウ	退学率の低減が図られているか	2.67
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	2.78
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.89

(2) 現状および問題点と改善策

- ・進路指導担当教員による個人指導の徹底、企業求人情報の開示、担任による就職対策、授業枠での指導など、総合的な就職支援活動を展開して就職率の向上を図っている。
- ・入学する学生の学力の低下や、学生自身の精神的な問題、学生を取り巻く家庭的な原因・経済的な原因など複雑な要因により退学・休学する学生が増加している。
 学力低下や学習意欲の減退防止のため、面接指導、カウンセリングの充実、基礎学力の充実、特別対策授業の実施等を通じて指導に力を入れているが、今の時代の多様な学生一人一人に合わせた緩急をつけた指導を、各教員が意識的に取り組む必要がある。
- ・卒業生に対する卒業後の把握については、卒業生の来校等によって現在の職場での状況を確認する程度であるため十分とはいえない。今後、就職先との更なる連携により卒業生の状況について積極的な情報収集を図っていく方向である。

◇基準5 学生支援 総合評価 2.96 (2022年度 3.05)

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.44
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	3.11
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.44
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.67
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.67
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	2.67
キ	保護者と適切に連携しているか	3.11

ク	卒業生への支援体制はあるか	2.78
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.89
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.78

(2) 現状および問題点と改善策

- ・担任を中心とした相談体制を確立しており、学生から寄せられる様々な相談を受け付け、対応している。
- ・一人暮らし支援制度、定期券半額負担制度、特待生入学制度（学業特待・資格特待・精勤特待）・企業特待制度、学費の分割納入など、いろいろな側面から経済的に支援する制度を整備している。また、日本学生支援機構奨学金や国の教育ローン等の紹介により経済的に支援している。
- ・課外活動においては、学園全体、自動車独自の行事を組み入れることにより、有意義な学生生活を送れるよう、多岐にわたって支援している、ただし、部活動については実施していない。
- ・保護者との連携については、保護者宛の文書（成績・出欠状況・資格取得状況）や、担任による電話連絡、面談、家庭訪問などで密に連絡し、適宜三者面談を実施している。さらに、学校行事や検定等についても案内・連絡するほか、年一回保護者会を開催している。
- ・自動車整備業界で現在利用されている環境を念頭に教育環境の整備を行っている。近年では、ハイブリッド車や電気自動車の整備に関する設備の充実を目処として学習支援環境の改善を行っている。また、企業と連携し、最新技術の講習会を実施している。
- ・高校生向けに自動車整備に関する模擬授業などを実施し、生徒のスキル向上を図るとともに、職業への関心を高める支援を行っている。

◇基準6 教育環境

総合評価 3.00 (2022年度 3.08)

(1) 評価

	評価項目	自己評価
ア	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.56
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.11
ウ	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	3.11
エ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3.22

(2) 現状および問題点と改善策

- ・1級自動車整備学科においては、就職内定先へのインターンシップを実施している。2級自動車整備学科においても、希望学生を対象に適宜実施している。
- ・防災に関する計画書及び災害時の行動マニュアル、避難経路の周知や緊急避難時の連絡体制は整備されている。また、業者等による消防設備の点検（年2回）や学生の傷害保険等の整備もしている。
- ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているが、老朽化している部分もあるため、適宜改善が必要である。

◇基準7 学生の受け入れ募集
総合評価 2.85 (2022年度 3.20)

(1) 評価

	評価項目	自己評価
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	2.89
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2.89
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	2.78

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学生募集活動の一環として、各高校へ出向き、本校の案内や実習授業体験を行っている。また、高校主催の地域住民参加型イベントにも参加し、体験実習やPR等を実施している。
- ・本校の取り組みや成果（就職率・資格取得率）などは正確に伝えられている。
- ・各種イベント等は、ホームページやSNS上にトピックとして情報提供している。
- ・人員不足により全教員が広報活動に参加する機会はまだ少なく、教育成果の伝達が必ずしも十分ではない状況が続いている。今後、広報活動未経験の教員も積極的に広報活動に参加させ、学校説明ができる教員を増やし、全教員で学生募集活動に取り組んでいきたい。

◇基準8 財務
総合評価 3.08 (2022年度 3.05)

(1) 評価

	評価項目	自己評価
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.11
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.11
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	3.11
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	3.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ・各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入せずに自己資金で賄ってきており、財政基盤は安定している。
- ・学園全体の予算編成方針に基づいて計画立案し、各校の運営計画に従って予算を執行している。
- ・財務諸表を作成した上、理事会の承認を得て、学園ホームページに公開している。ただし、教職員自身が学園財務に関して、関心が薄いため低い評価となるケースも見受けられる。今後、学園ホームページの閲覧等を通して、教職員各々が学校運営に関心を持つ意識づけを行いたい。

◇基準 9 法令等の遵守
総合評価 3.19 (2022年度 3.13)

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.22
イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3.33
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2.89
エ	自己評価結果を公開しているか	3.33

(2) 現状および問題点と改善策

- ・個人情報の適正な管理運用に努め、ネット社会の危険性の周知と意識向上を図っている。
- ・自己評価の結果については自己点検評価報告書を作成し、学園ホームページで公開している。
- ・県・国に関係書類を提出し、運営許可を得ている。また、法令や設置基準を把握し遵守している。

◇基準 10 社会貢献・地域貢献
総合評価 2.78 (2022年度 2.33)

(1) 評価

評価項目		自己評価
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.78
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.67
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.89

(2) 現状および問題点と改善策

- ・水戸市の地域活性化として、学生による学校周辺の清掃活動を行っているが、より積極的にボランティア活動を推進していく必要がある。
- ・地域の高校へ出向き、高校生向けに出張授業を行い、学生の職業への関心を高める支援を行っている。

◇基準 11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

学校法人八文字学園 専門学校 水戸自動車大学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-22
